



死刑 2人を執行

1年ぶり、政権交代後初

千葉景子法相は28日午前記者会見を開き、死刑囚2人の死刑を同日に執行したと発表した。死刑の執行は昨年7月に3人に対して行われて以来、1年ぶり。確定死刑囚はこれで107人となった。千葉法相が昨年9月に就任してから初の執行となる。かつての死刑廃止議員連盟のメンバーで、今月の参院選で落選した千葉法相が執行に踏み切ったことは、論議を呼びそうだ。

千葉法相は会見で、執行に立ち会ったことを明かし、「死刑に関する根本からの議論が必要だと改めて思いました」と語った。そのうえで、死刑について国民的な議論の材料を提供するため、メディアによる東京拘置所内の刑場の取材の機会を設けることを明らかにした。

執行されたのは、2000年6月、宇都宮市の宝石店で女性従業員6人を焼死させ、1億4千万円相当の貴金属を奪ったとして、強盗殺人などの罪が確定した篠沢一男死刑囚(59)▽03年8月、埼玉県熊谷



死刑を執行したと発表する千葉景子法相。28日午前11時4分、東京都千代田区、西畑志朗撮影

市で飲食店従業員などの男女4人を殺傷したとして、殺人などの罪が確定した尾形英紀死刑囚(33)——の2人。ともに東京拘置所で執行された。

篠沢死刑囚は02年に宇都宮地裁で、尾形死刑囚は07年にさいたま地裁でそれぞれ死刑判決を言い渡された。いずれも07年に死刑が確定し、執行までの期間は、篠沢死刑囚が3年4カ月、尾形死刑囚が約3年だった。